

メールのフィルター・転送の使い方

メールのフィルター・転送について

受信したメールの送信者や件名、サイズなど複合的な詳細な条件を元に、転送、バケーションメールの他にメールの移動、コピー、破棄、削除など複数の処理が設定可能です。

1.メールツールにログイン

メールツールのログイン画面にメールアドレス、メールパスワードを入力し[ログインする]をクリックします。

UserTool ログイン画面

メールサービス

「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。

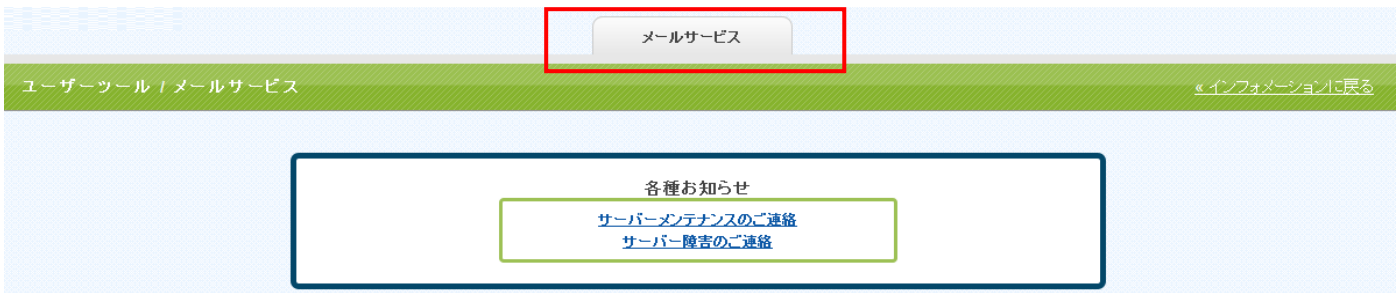
メールアドレス:

パスワード:

ログインする

2.メールサービス詳細画面の表示

[メールサービス]をクリックして設定ページに切り替えます。



3.新規フィルターの追加

【メールサービスの詳細】が表示されますので、[新規フィルターの追加]をクリックします。

メールサービス

ユーザーツール / メールサービス [「インフォメーション」に戻る](#)

メールアドレス	sample@*****.com		
タイプ	mailbox		
区分	メイン		
メールボックス容量	1GB	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	25KB <input type="text"/> 0%		
メール数	6通		

迷惑メールフィルター OFF

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

新規フィルターの追加

保存する

4.【ユーザーフィルターの新規作成】画面

【ユーザーフィルターの新規作成】が表示されます。

メールサービス

ユーザーツール / メールサービス [「インフォメーション」に戻る](#)

ユーザーフィルターの新規作成

フィルターの名前

ルールの適用条件 以下のルールのいずれかに一致 以下のルールの全てに一致 全てのメールに適用

送信者(from)が を含む

ルールの適用時間 常時 時間指定 0 時台 ~ 0 時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※ [9時台~17時台と設定した場合は、9時00分00秒~17時59分59秒までが対象時間となります。
 ※ 21時台~8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時~23時のフィルタと0時~8時のフィルタを2つ設定して下さい。

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する 受信トレイ

5.フィルター名の入力

【フィルターの名前欄】に任意のフィルター名を入力します。

フィルターの名前

6.ルールの適用条件の設定

新しく条件を追加する場合は、[新規条件の追加]または[追加]をクリックします。

設定した条件を削除する場合は[削除]をクリックします。

ルールの適用条件

以下のルールのいずれかに一致
 以下のルールの全てに一致
 全てのメールに適用

送信者(from)が



を含む



追加

削除

新規条件の追加

ルールの適用条件項目

以下のルールのいずれかに一致	設定した条件のいずれかに一致した場合に、処理が実行されます。(or 条件の指定になります。)
以下のルールの全てに一致	設定した条件の全てに一致した場合に、処理が実行されます。(and 条件の指定になります。)
全てのメールに適用	全てのメールで処理が実行されます。 (「全てのメールに適用」を選択すると、適用条件設定項目が非表示となり、受信した全てのメールに処理が適用されます。)

【条件の設定画面について】

条件の設定画面は、選択するメニューにより、3つのパターンに変化します。

【パターン1】「送信者(from)が、受信者(to、cc)が、件名(Subject)が、本文(body)が」のいずれかを選択した場合

ル (1) の適用条件 以下 (2) ルールのいずれかに一致 以下のルールのもつてに一致 (3) 全てのメールに適用

送信者(from)が		を含む	追加	削除
送信者(from)が		を含まない		
受信者(to、cc)が		と一致する		
件名(subject)が		と一致しない		
本文(body)が		存在する		
メールヘッダー(header)が		存在しない		
メールサイズが				

適用条件項目

(1)	送信者(from)が	条件にメールの送信者(from)を指定する場合に選択します。
	受信者(to、cc)が	条件にメールの受信者(to、cc)を指定する場合に選択します。
	件名(Subject)が	条件にメールの件名(Subject)を指定する場合に選択します。
	本文(body)が	条件にメール本文(body)を指定する場合に選択します。
(2)		条件となる、メールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)を入力します。
(3)	を含む	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>含まれている</u> 場合に動作します。 ※ 含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>含まれていない</u> 場合に動作します。
	と一致する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>一致する</u> 場合に動作します。 ※ 一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。 例えば、『From が』『sample@*****.com』と『一致する』いう設定をしても、実際に送られて来たメールヘッダの From が、『"イージェーサンプル" <sample@*****.com>』となっている場合には、一致とは判定されない為、フィルター設定は動作しません。
	と一致しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>一致しない</u> 場合に動作します。
	存在する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>存在する</u> 場合に動作します。 ※ 存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」のヘッダが存在するかしないかを判断します。 ※ 『本文(body)』設定はメールヘッダに『body:』というヘッダがそもそも存在しない為、設定しても動作しません。
	存在しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>存在しない</u> 場合に動作します。

【パターン2】「メールヘッダー(header)が」を選択した場合

ルールの適用条件

以下(2)ルールのいずれかに (3)
 以下のルールの全てに一致
 全てのメールに適用 (4)

メールヘッダー(header)が を含む

を含む
 を含まない
 と一致する
 と一致しない
 存在する
 存在しない

適用条件項目

(1)	メールヘッダー (header)が	条件にメールヘッダ(header)を指定する場合に選択します。
(2)		条件となる、header を入力します。(header はメール画面から確認できます。) 【入力例】 From(送信者)が、sample@*****.com を含む場合 この場合は「From」と入力します。 <input type="text" value="メールヘッダー(header)が"/> <input type="text" value="From"/> <input type="text" value="sample@*****.com"/> <input type="text" value="を含む"/>
(3)		(2)で入力した header の詳細条件を入力します。 【入力例】 From(差出人)が、sample@*****.com を含む場合 この場合は「sample@*****.com」と入力します。 <input type="text" value="メールヘッダー(header)が"/> <input type="text" value="From"/> <input type="text" value="sample@*****.com"/> <input type="text" value="を含む"/>
(4)	を含む	(2)と(3)で入力した、header 情報が含まれている場合に動作します。 ※ 含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)と(3)で入力した、header 情報が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)と(3)で入力した、header 情報が一致する場合に動作します。 ※ 一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。
	と一致しない	(2)と(3)で入力した、header 情報のいずれかが一致しない場合に動作します。
	存在する	入力した、header 情報が存在する場合に動作します。 ※ 存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」のヘッダが存在するかしないかを判断します。
	存在しない	入力した、header 情報が存在しない場合に動作します。

【パターン3】「メールサイズが」を選択した場合

ル (1) の適用条件 (2) の下のルールのいずれか (3) 一致 以下のルールの全てに一致 全てのメールに適用

メールサイズが バイト KB MB GB 以上の時

適用条件項目

(1)	メールサイズが	条件にメールサイズを指定する場合に選択します。
(2)		(3)で選択する単位に応じた数値を入力します。
(3)		メールサイズの単位を選択します。 バイト～GB、設定した数値以上 / 以下の設定が行えます。

7. ルールの適用時間の設定

条件を設定したルールの適用時間を設定します。

[常時]または[時間指定]にチェックを入れて、0～23 時の間で時間を指定します。

ルールの適用時間 常時 時間指定 0 時台 ~ 0 時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。
※ 21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時～23時のフィルターと0時～8時のフィルターを2つ設定して下さい。

※ 時間指定の場合は、終了時刻を開始時刻より大きい数字で設定してください。

※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。

※ 21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は21時～23時のフィルターと0時～8時のフィルターを2つ設定して下さい。

8. 実行する処理内容の設定

実行する処理の内容を設定します。処理の設定は、複数設定する事が可能です。

新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する

次のフォルダにメールを移動する
次のフォルダにメールをコピーする
次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)
次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す)
メールを破棄する
バケーションメールを送信する
メールを削除する
ルール評価を停止する

受信トレイ

受信トレイ
下書き
送信済みアイテム
迷惑メール
ごみ箱
保存フォルダー

【実行する処理の内容画面について】

実行する処理の内容画面は、選択したメニューにより、5つのパターンに変化します。

【パターン1】「次のフォルダにメールを移動する」、「次のフォルダにメールをコピーする」を選択した場合

実行(1)の処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの(2)の内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する パケージンメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する	受信トレイ 受信トレイ 下書き 送信済みアイテム 迷惑メール ごみ箱 保存フォルダー	追加	削除
---	--	----	----

適用条件項目

(1)	次のフォルダにメールを移動する	条件に該当したメールを指定したフォルダに移動します。
	次のフォルダにメールをコピーする	条件に該当したメールを指定したフォルダにコピーします。
(2)		選択したフォルダに(1)で設定した処理が実行されます。 ※ 初期フォルダは、Web メールにログインした際自動作成されます。 ※ 初期フォルダには「受信トレイ」「下書き」「送信済みアイテム」「迷惑メール」「ごみ箱」「保存フォルダー」の6つのフォルダがあります。また、ユーザーが自分で作成したフォルダがある場合もこの一覧に表示されます。

【パターン2】「次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない/残す)」を選択した場合

実行(1)の処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの(2)の内容を設定します。

次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する パケージンメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する	<input type="text"/>	追加	削除
---	----------------------	----	----

適用条件項目

(1)	次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)	条件に該当したメールを転送し、転送したメールはサーバから削除します。 ※ 転送したメールはごみ箱に入らず、サーバから削除されますのでご注意ください。
	次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールをサーバに残す設定です。
(2)		転送するメールの送信先のメールアドレスを入力します。

【パターン3】「メールを破棄する」を選択した場合

実行(1)の処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの(2)内容を設定します。

メールを破棄する

適用条件項目

(1)	メールを破棄する	条件に該当したメールはサーバから削除され、サーバから差出人に送信不能の旨のメッセージが送信されます。 ※ メールはごみ箱には入らず、サーバから削除されますのでご注意ください。
(2)		差出人に対して送信するメッセージを入力します。

【パターン4】「バケーションメールを送信する」を選択した場合

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

(1) バケーションメールを送信する

本文

(2)

件名

(3)

受信者

(4)

(5) 返送禁止期間 日

適用条件項目

(1)	バケーションメールを送信する	条件に該当したメールにバケーションメールを送信します。 バケーションメールは、休暇中などのメール返信が出来ない期間に、設定したメッセージを自動返信する機能です。
(2)	本文	自動返信するメールの本文を入力します。
(3)	件名	自動返信するメールの件名を入力します。 ※ 件名は半角 70 文字、全角 15 文字以内の入力制限があります。
(4)	受信者	メールアドレスを入力します。 入力したメールアドレス宛でのメールを受信した際にバケーションメールが送信されます。
(5)	返送禁止期間	1 度送った相手に再送を行わないよう期間を設定します。 1～90 日の間で半角の数字を入力します。

【パターン5】「メールを削除する」、「ルール評価を停止する」を選択した場合

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

メールを削除する	追加	削除
次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する バケーションメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する		

適用条件項目

メールを削除する	条件に該当したメールをサーバーから削除します。 ※ メールはごみ箱には入らず、サーバから削除されますのでご注意ください。
ルール評価を停止する	複数のフィルター設定がある場合、上から順に適用されますが、ルール評価の停止ルールに合致したメールには、それ以下のフィルター設定は実行されなくなります。 【設定例】 下図のようにユーザーフィルターを3つ設定している場合に、ユーザーフィルター2で“ルール評価を停止する”を設定していると、それ以下のユーザーフィルター3が実行されなくなります。 ユーザーフィルター2に“ルール評価を停止する”設定がある状態

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる

↓

9.設定内容の保存

各種条件の設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

保存する キャンセル

ユーザーフィルターの適用順の変更

ユーザーフィルターは、上から順番に適用されます。

優先順位は、ユーザーフィルター画面右端の「優先度を上げる」、「優先度を下げる」で操作します。

優先度を上げる場合は、該当フィルター名の「優先度を上げる」、下げる場合は、該当フィルター名の「優先度を下げる」をクリックします。

設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

※ 『ルール評価を停止する』が設定されていると、そのフィルター以下の設定は適用されませんのでご注意ください。

ユーザーフィルター ユーザーフィルターは、迷惑メールフィルターを通過したメールに適用されます。

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる

ユーザーフィルターの編集と削除

設定したフィルター設定を編集したい場合は、該当フィルターの[編集する]ボタンをクリックします。

不要なフィルター設定を削除したい場合は、該当のフィルターの[削除する]ボタンをクリックし、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

※ [保存する]ボタンをクリックしないと、削除されませんのでご注意ください。

ユーザーフィルター ユーザーフィルターは、迷惑メールフィルターを通過したメールに適用されます。

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる